

アリのキリの外壁塗装

塗装の工程を分かりやすくご説明



①足場の組立
安全効率的な作業に足場は必要不可欠。さらに塗料の飛沫や水の飛び散り防止の為にネットを張ります。



②高圧洗浄
外壁や屋根に付着する汚れやカビ・コケなどを綺麗に洗い流す。洗浄不足は剥がれなどの施工不良の原因になるので丁寧に洗浄します。



③下地の処理
外壁のヒビ割れやコーキング処理を行なう。塗装の前に施工することでコーキングの寿命をのばします。



④下塗り
素材と塗料の密着をよくするための作業。接着剤の役割をもつ下塗り剤を塗布。上塗りの発色もよくする。



⑤中塗り
外壁・屋根の塗装は3回塗りが基本。下塗り上塗りの中間層となり、塗り残しやムラを防止する。中塗り後はしっかりと乾燥する。



⑥上塗り
仕上がりを左右し、耐用年数を決定する大切な作業。中塗りと同じ塗料で行い、方角や劣化の症状によって、さらに重ね塗りする場合も。

雨戸塗装

【目荒らし】 塗料の吸着力向上のために、表面に細かな凹凸をつけ研磨する作業。丁寧にすると精度の高い下地が作れる。また旧塗膜の除去やサビ落としの作業をケレンと言います。



目荒らし



下塗り



中塗り



上塗り

完成

鉄部・木部も色々あります。



面格子



下塗り



面格子

中塗り
上塗り



ぬれ縁



下塗り



ぬれ縁

中塗り
上塗り

塗装と同時に補修した方が良いでしょう。画像でご説明します。



木の破風板は太陽光や雨風の影響で腐食しやすい場所です。しっかりチェックして状況をご説明致します。



雨水の侵入経路になりかねない穴はガッチリ補修してから塗装します。腐食の程度で補修方法をご提案致します。



補修後の塗装で穴も塞がり、安心で綺麗な仕上がりになります。

軒天がこんな事になってませんか？ 足場が必要な工事はいっぺんに直しましょう♪



軒裏天井が木の場合も劣化が目に見えて分かります。ペリペリ剥がれてしまったら塗装だけでは手遅れです。



塗装の前に大工さんに軒裏天井のベニヤ板を綺麗に張り直してもらいます。部分的にか、全面かは程度によりご相談しましょう。



綺麗に仕上がり、安心・満足♪
これでご近所の目も気にならなくなりますね。

自分で出来る劣化症状のチェック



【チョーキング】
塗料の経年劣化により塗膜が分解され表面の顔料が粉状に戻ってしまう現象です。手に粉が付いたら塗替えの目安です。



【ヘアークラック】
モルタルの外壁などに出来るヒビ割れで0.3mm以下の幅のもの。塗料の重ね塗りで埋まる心配ないものです。ヒビの深い場合は補修が必要になります。程度により補修方法をご提案いたします。



大きいヒビ割れの時にはVカット補修を行います。ヒビに沿ってあえて溝を掘り、コーキングやセメントをしっかりとヒビを埋めた後に塗装すれば安心です。